

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和4年7月21日（木）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：黒川長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから7月21日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○黒川総務課長 報道官の黒川です。

お手元の広報日程に沿って説明をいたします。

まず、あした、臨時の委員会があります。議題は5つです。

議題の1つ目は、ALPS（多核種除去設備）処理水の海洋放出設備についての認可ということになります。

これは、5月18日にパブリックコメントにかけるということになっていたものでありますけれども、そこでパブリックコメントを終わらせて、出てきた意見も踏まえまして、今回認可する旨を決定するというものになります。

寄せられた意見は、意見募集の対象となる審査書案についての科学的、技術的な意見は670で、それ以外のもも含めて寄せられた意見を全部数えると、1,233件ということになっています。

議題の2つ目ですけれども、量子科学技術研究開発機構、QSTの次期中長期目標の策定に向けた見直しということで、これは昨日の委員会でも議題になっていたものですが、その場で意見が出て合意できなかったのが、今回、修正を加えて改めて了承を求めるといったものになります。

議題の3つ目ですけれども、美浜3号機における火災防護の不備に関する検査結果ということでもあります。

これは昨年度の第3四半期で出てきた案件で、そこからずっと検査を継続中にしてきた案件でありますけれども、その検査結果の報告ということになります。

火災防護の不備とありますけれども、火災防護上、別々に、同時に燃えないようにしておかないといけない2つの系統のケーブルなどが、1つが燃えともう1個も燃えてしまうのではないかとこの可能性があるということが見つかった案件になります。

これについて検査を進めまして、重要度と深刻度の評価まで行ったので報告するというものになります。重要度は緑で、深刻度はSL4（Severity Level-4）と、2つとも軽いということで評価されています。検査結果によっては高くなる可能性もあったのですが、2系統同時に機能を喪失する可能性は低かったということで、いずれも軽いも

のと評価されています。

議題の4つ目ですけれども、炉安審、燃安審の審議結果報告ということで、炉安審、燃安審は開催される度に結果を報告していますけれども、6月10日の基本部会と6月23日の地震・津波部会の結果を報告するものです。特に何か見直しを必要とする大きな意見とか議論はなかったということのようです。

議題の5つ目ですけれども、今年度の原子力規制人材育成事業の採択の結果ということになります。

人材育成事業というのは、原子力規制人材の育成を目的に、大学などの研究機関が人材育成プログラムを実施して、それに補助をするというものでありますけれども、本年度は7件応募がありまして、4件採択したということ報告されます。

次が、4ページ目の一番上、7月28日の（9）、技術情報検討会です。

これもいつものとおり最新の研究の知見の報告と事故・トラブル情報ということの報告があります。特に目新しいものの報告はないと聞いています。

次が、7月28日の（10）、1F（福島第一原子力発電所）事故の知見の規制の取り入れの作業チームによる事業者の意見聴取会合ということでありまして、これの第2回と書いてありますが、第1回は4月22日に行っていますけれども、議題は水素防護についてということでありまして。規制委員会側の検討内容に対して事業者側から意見が述べられるということになります。

次が、7月28日の（11）、第1063回審査会合です。

議題は3つありまして、1つ目が柏崎刈羽の6号機の設工認ということになりまして、今回は、いわゆる杭の損傷案件ということで、これは設工認の中で見るということに元々していましたが、その杭の損傷の件についての報告ということになります。東電が追加調査をやっていますので、その結果の報告などがあるということのようです。

2つ目は、泊3号機の許可ということです。

7月1日に、地震・津波のほう、自然ハザードのほうの審査会合で、検討方針とかスケジュールの確認というものをした続きで、こちらのプラント側についても同じようなことをということのようです。

3つ目は、伊方3号機の設工認ということで、これは5月30日に申請がありました弁の改造というものについてのようで、特に論点はないようで、今回1回で終わるのではないかとということのようです。

次が、7月29日の（12）、第1064回審査会合です。

議題は2つありまして、1つ目は志賀2号機の地質構造についてということで、これは石渡委員も現地に行きまして、追加調査をするということになっていたと思いますけれども、福浦断層についての調査結果の報告などがあるという見込みです。

2つ目は、柏崎刈羽の第3直流電源に係る地震動評価についてということで、これは震源を特定せずの、いわゆる標準応答スペクトルの関係ということになります。

最後、5ページ目ですけれども、7月29日の（13）、輸送容器に関する審査会合です。議題は、JAEA（日本原子力研究開発機構）関係の輸送容器についてということになります。7月13日に申請があったそうで、今回は初会合となります。

JRR-3（Japan Research Reactor-3）とJMTR（Japan Materials Testing Reactor）の使用済燃料を海外に輸送するというこのようで、その輸送容器についての申請ということになります。

こちらからの説明は以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。質問のある方は手を挙げてください。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。ありがとうございました。

—了—